



BABYTECH® AWARDS 2025-26

ベビーテック® アワード

ベビーテック® アワード 2025-26

開催概要・応募要項

応募期間: 2025年10月22日～11月28日

受賞式・総合展示: 2月下旬～3月上旬・東京都内予定

BabyTech® Awards 実行委員会・審査委員会
一般社団法人 カラトクロス

● 審査対象

- 妊活妊娠期から未就学児の育児・保育・医療を支えるデジタルを活用したデバイス/製品/アプリ/サービス

● 審査部門

- 全13部門
 - 授乳と食事
 - 子どもの学びと遊び
 - 安全対策と見守り
 - 妊活と妊娠
 - 健康・毎日のお世話
 - 記念・記録・思い出
 - 保護者支援サービス 一般
 - 保護者支援サービス キャリア支援
 - 保育ICT 一般
 - 保育ICT 保育中の事故防止
 - 育児家事向け家電
 - 発達障がい支援
 - 社会的インパクト

● 過去の受賞商品例



● 応募と審査の流れ



● Webから応募登録

所要5分程度・途中保存可 ▶



“BabyTech”が、育児生活をより安全、安心、豊かにし、子どもの育ちを支えるために使われる社会を目指します



▲ BabyTech® Awards 2025 のロゴマーク
「保護者と保育者がネットワークを通じて赤ちゃんを見守っている姿」を図案化したマークをベースに、赤ちゃんに冠をかぶってもらい、ファミリーの周囲に月桂冠を配したものです

私たちは、この理念のもとにBabyTech商品の普及推進活動を行い、より多くの生活者に安心してご活用いただける社会を目指しています。そして、推進にあたり2つの課題に直面しました。

- ① どのようなBabyTech商品を選べば安心して子どもに使用できるか、生活者自身が評価する手段に限りがあること
- ② BabyTechの普及、社会実装には生活者の皆さんの認知拡大と、そのための伝播力のある応援や協働が必要なこと

これら課題に対し、有識者による厳格な審査により、優れた商品やサービスを表彰するコンテストを行いました。アワード認定・受賞商品を妊娠・出産・育児に関わるすべての皆さまにお示しすることで、テクノロジー商品を安心して選べる環境を整えてきました。

2025年、7回目となる「BabyTech® Awards 2025-26」を開催いたします。
これまで年末に近いタイミングでの大賞・優秀賞・特別賞発表では、受賞後のPR期間が限られていました。今回はその点を改め、年度単位で開催することで、受賞商品の価値を翌年も通年で広く伝えられる体制としました。

授賞式や商品展示は、今回からカンファレンスなども複合したイベントとして開催、より多くのニュース性を打ち出し、育児環境のテクノロジーによるバックアップを打ち出してこれまで以上に多くの方とともに価値を向上して参ります。

BabyTech® Awards 実行委員会・審査委員会

ベビーテック市場の認知と優れた商品を紹介するコンテストです

私たちは育児向けのICTサービスや商品を開発・提供されている団体・企業様、それを利用する保護者、保育者、保育事業者のみなさまをはじめ、育児をとりまく全てのみなさまにベビーテックを認知いただきたく、このコンテストを開催いたします。



ベビーテックが普及し、人による育児、保育、見守りにシステムによる支援を行うことで

- 安全安心のさらなる担保
- 保護者保育者の精神的肉体的負担を低減
- 一つひとつの悩みを解決し、大きな困難となる事を未然に防止
- 子どもや家族に向き合いたいところにより手をかけられる環境づくり

を実現し、子どもたちによりよい環境で成長してもらいたいと考えています。



対象となる商品・サービスは、

- 新生児・乳児・幼児(未就学児)とその保護者
- 妊娠前～妊娠期～産前産後の女性とそのパートナー、家族
- 子どもの保育・教育・医療の従事者

をユーザーとするプロダクトであればご参加いただけます。

つまり、「育児を支えるすべての技術」が、このアワードの対象となります。

▲ 受賞商品例

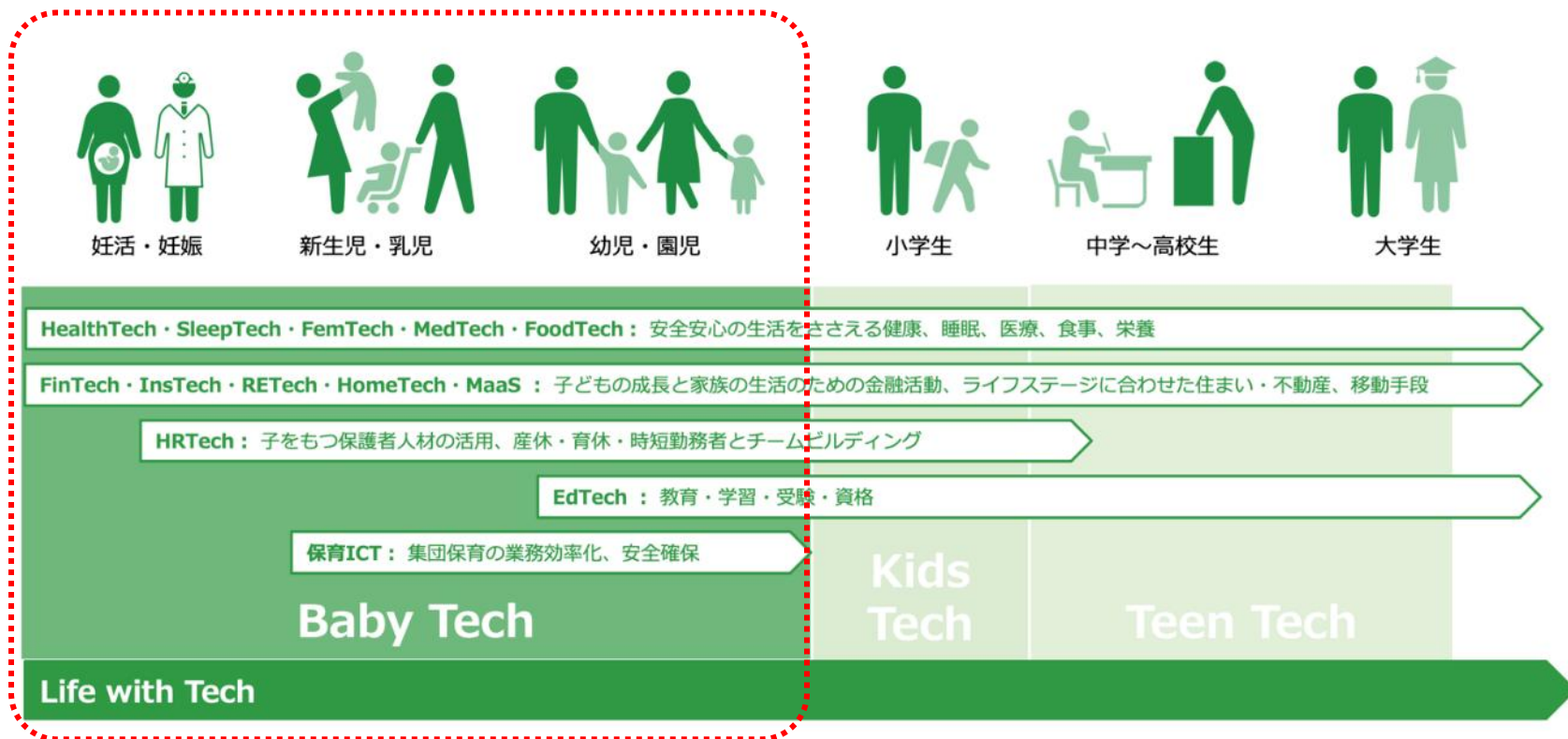
(上)おむつ着用型乳児用

体動センサ

(中)英語学習アプリ

(下)世界最小(※受賞当時)の
分娩監視装置

BabyTechの範疇



FemTech(女性)、SleepTech(睡眠)、EdTech(教育)、FinTech(金融)など様々なジャンルのxTechを横の「線」とすると、BabyTechは妊活から就学までの幼児を取り巻く包括的な「面」のテクノロジージャンルとなります。

BabyTechは、複数のテクノロジー領域が交わる“生活のインターフェース”です。

本アワードは、この多様な技術の中から「育児と家族の幸福を支える視点」を持つプロダクトを発掘・紹介します。

BabyTechの裾野

BabyTechは妊活妊娠期から産後、育児生活、それに伴う家事や業務、ライフスタイルすべてを支え伴走する技術商品・サービスを指します。

AIやIoTなど、先進的なテクノロジーを活用したものを「先進的BabyTech」と位置づけ、乳幼児の見守りや発達支援、保育現場での業務効率化などを含みます。

一方で、育児中の家事やライフスタイルを助ける電化製品・アプリ・インターネットサービスなど、日常生活の中で自然に取り入れられる技術を「BabyTechの入り口」としています。

こうした製品・サービスは、テクノロジーがそばにある育児を生活者がイメージしやすくし、導入のファーストステップとして大きな意義を持ちます。





審査対象は以下の**条件1**と**条件2**をいずれも1つ以上満たすものとなります。

条件1 使用者、対象者： 次の①～④のいずれかを対象とする

- ① 妊娠希望者、妊娠・出産期の母親と胎児、産後期の母親
- ② 新生児(生後0日～28日未満)、乳児(満1歳未満)、幼児(未就学児)
- ③ 乳幼児の保護者および親類縁者、母親のパートナーおよび親類縁者
- ④ 施設団体の保育者、施設運営者、被保育者の乳幼児とその保護者

条件2 商品・サービスの形態： 次のa.～d. のいずれかに該当するもの

- a. 単体で動作する電子デバイス、電化製品
- b. スマートフォンやPC、インターネットなどと連動するデバイス、機器
- c. スマートフォンやPCなどの各種アプリケーション
- d. ウェブサイト等のICT技術を活用したサービス、取り組み

たとえば、

赤ちゃんのお世話記録アプリは、**条件1**の「③乳幼児の保護者」を使用者とし、**条件2**の「c.スマートフォンアプリ」に該当します。

時事を焦点とした小分類を創設し、全13部門に分類して審査いたします。該当部門は下記を参考としてください。

1. 授乳と食事 Eats & Feeding	給食システム、設置型授乳室、食育向けコンテンツ、スマート哺乳瓶、授乳室検索、授乳・食事の記録、メニュー作成、アレルギー対策、離乳食サブスクリプション、スマート調乳機、FoodTech類など、子どもの授乳・食事に関するもの
2. 子どもの学びと遊び Learn & Play	知育（発達支援含む）ロボット、プログラミング学習、ラーニングシステム、知育アプリ、ラーニングトイ、スマートぬいぐるみ、EdTech類など未就学児からはじめられる学び、遊びに関するもの
3. 安全対策と見守り Safety	一般家庭向けのSIDS対策、危険監視システム、子どもの位置情報確認、保険類、シッター派遣、託児所マッチングなど、事件事故や怪我等から未然に子どもを見守るもの、見守る人材や場所を一般家庭に提供するもの 教育・保育施設などにおける重大事故を防ぐ目的の商品は8-b. 保育中の事故防止部門に該当します
4. 妊活と妊娠 Fertility & Pregnancy	スマート基礎体温計、周期記録、家庭用音波スキャナ、スマート母子手帳、胎児情報アプリ、不妊治療支援、妊活支援、産後ママ支援、FemTech類など、妊娠を望む人から妊娠中、産前産直後の母体とパートナー、環境に関するもの
5. 健康・毎日のお世話 Health	スマート体温計、スマート診察券、病状記録アプリ、産科小児科小児歯科向け電子カルテ、水分補給、排泄管理、小児科医派遣、病児ケア、子ども部屋向け気温湿度監視空調コントロール、HealthTech類、SleepTech類など、子どもの健康管理を目的としたもの
6. 記念・記録・思い出 Memorial	子どもと家族を撮影・記録するデバイス、子どもの成長記録、家族間写真・映像共有、アルバム作成、家族写真フォトグラファー派遣、子どもの作品保存、映像作成、記念品作成、パーソナライズ絵本作成など、子どもと家族の成長や成果の記念、生活・活動記録に関するもの

時事を焦点とした小分類を創設し、全13部門に分類して審査いたします。該当部門は下記を参考としてください。

7. 保護者支援サービス Parents support	7-a. 一般部門 家族間育児共有アプリ、育児情報提供アプリ・Webサイト、子育て世帯向けの金融・不動産・支援等のオンラインサービスなど、妊娠中～乳幼児の保護者を対象とするもの。 企業向けプログラム、育休等支援、復職支援、チームでの業務設計・評価、育児支援を通じて採用・定着・エンゲージメント向上を目指す企業向けシステムやツール(BtoB領域)は「11. 社会的インパクト部門」に該当します
	7-b. キャリア支援部門 人的資本経営支援、育児中人材支援、育休者インターンマッチング、産休育休後キャリア支援など、妊娠中～乳幼児の保護者のキャリア支援を対象とするもの
8. 保育ICT Childcare System	8-a. 一般部門 保育従事者向け人員管理システム、施設と保護者の連絡システム、施設での子どもの様子を記録するシステムなど、多人数の子どもを預かる教育・保育施設向け業務の円滑化・効率化をはかるもの。 教育・保育施設における重大事故を防ぐための見守り用品、システムは「8-b. 保育中の事故防止部門」に該当します
	8-b. 保育中の事故防止部門 教育・保育施設における重大事故を防ぐための見守り用品、システム。午睡監視用品、GPSやBluetoothタグをはじめとする園児の位置情報管理、送迎バス車内の置き去り事故を防ぐための安全装置。安全装置システムを包含した登降園管理システム。
9. 育児家事向け家電 Appliances for Childcare Household	育児家電、電動バウンサー、フードプロセッサー、小分け洗い用洗濯機、食洗機、ロボット掃除機、アレルゲン対策掃除機、スマートスピーカー、ホームオートメーション、スマートリモコンなど、育児をしながら行う家事を効率化、省力化する商品

時事を焦点とした小分類を創設し、全13部門に分類して審査いたします。該当部門は下記を参考としてください。

9. 育児家事向け家電 Appliances for Childcare Household	育児家電、電動バウンサー、フードプロセッサー、小分け洗い用洗濯機、食洗機、ロボット掃除機、アレルギー対策掃除機、防災用バッテリー、スマートスピーカー、ホームオートメーション、スマートリモコンなど、育児をしながら行う家事を効率化、省力化する商品
新設 10. 発達支援ツール Development Support Tools	発達障がいやグレーゾーンの子どもとその保護者・保育者を支援するアプリ、サービス、教育教材など、発達支援・特性理解・共生社会の実現に寄与する技術商品・サービス。 療育アプリ、コミュニケーション支援デバイス、感覚統合訓練器具、特別支援教育向けデジタル教材など、特別な配慮が必要な子どもの発達を支援するツールやシステム
新設 11. 社会的インパクト Social Impact	育児・保育を通じて、地域・企業・社会全体に良い影響をもたらす取り組みや、それを支援する企業向けシステム・サービス。産休・育休、男性育休の取得推進、復職支援、チームでの業務設計・評価、育児支援を通じて採用・定着・エンゲージメント向上を目指す施策やツール、また企業・自治体・地域が連携し共育社会を実現するためのデジタルを介した仕組み・プラットフォームなど、「テクノロジーが育児を支援することで社会をより良くする」活動および活動を支援するもの

※応募部門がご不明な場合は申込み時におまかせいただければ、審査委員会で適切な部門に振り分けいたします



BabyTech® Awards 2025-26 認定

各部門ごとに書類審査を行い、一定基準を満たした良質な商品・サービスを「BTA認定商品 2025-26(BTA Selection)」として選定します。

一次審査は、ご応募いただいた順に随時進行し、結果は順次通知いたします。



▲ 受賞マーク

(丸形:2024年の例)

BabyTech® Awards 2025-26 各部門 大賞・優秀賞

各部門で一次審査を通過した「BabyTech® Awards 認定商品」を対象に、二次審査を実施し、大賞・優秀賞を選出します。

サンプル商品・アプリの試用およびオンラインプレゼンテーションを経て、審査委員が審査基準項目(後述)ごとに5点満点で採点し、合計点により順位を算出します。

- **大賞**(部門1位の1商品)
- **優秀賞**(部門2位・3位の計2商品)

※優秀賞は部門毎の応募数により受賞数の増減がある場合があります

審査委員による部門別大賞・優秀賞の他に、協賛企業による特別賞を設置予定

全応募商品



BABYTECH AWARDS 認定

二次審査 ➡ 各部門 大賞・優秀賞

協賛企業等独自審査 ➡ 特別賞



新設

BabyTech® Awards 殿堂入り制度

特別賞・優秀賞・大賞に相当する成績を3回達成した商品を、
「BabyTech® Awards 殿堂入り」として認定します。

この制度により、新規有力商品の受賞機会の確保と、優良商品の継続
的表彰の両立を図ります。

殿堂入り商品の表彰は有償の年次更新制とし、使用先媒体制限のない
殿堂入りマーク・キットの提供、広報支援、販売支援などを通じて、定番
ベビーテック商品としての価値向上と優先的な扱いを行います。



※マークは仮のものです

マークの使い分け

- ✓ 一次審査通過 = **BTA認定** マーク
- ✓ 二次審査での賞受賞 = **大賞・優秀賞** 受賞マーク
- ✓ 協賛企業による特別賞受賞 = **特別賞** 受賞マーク
- ✓ 優秀賞以上の賞3回取得時点から = **殿堂入り** マーク

デバイス機器等、有形商品の場合

過去の発売時期を問わず、**2026年3月31日**までに**製品**として**個人ないしは法人**に対し**提供を開始できている状態、もしくは開始予定のもの**。

※公表する名称は仮称でも可

細則

1. 応募時に未発表の製品であっても、上記の要件を満たしていれば応募が可能です。
2. 二次審査ではプロトタイプやテスト機など、実際の製品で予定している性能を示すサンプルのご貸与をお願いいたします。（貸与期間：2025年12月～2026年2月上旬。プロトタイプ生産数などの観点から貸与・返却時期は応相談）
3. バス・施設・建造物に設置された状態の安全装置はサンプル提出不要です。審査委員が現地を訪問し、設置状況を確認する場合があります。
4. デバイスが開発中のテスト機の場合、実際の製品と同等の性能を確認できなければ審査対象外となることがあります。

アプリケーション・サービスの場合

過去のリリース時期を問わず、**2026年3月31日**までに、**アプリケーション**や**サービス**として**顧客が利用できる状態**で**リリース（Web公開、アプリケーションストアに公開等）**されている、**またはその予定のもの**。

※公表する名称は仮称でも可

細則

1. ベータ版であっても、大賞・優秀賞受賞商品発表（2026年2月上旬）時点で一般公開されている状態であれば対象とします。（抽選・招待制によるクローズドベータ運用は不可。ただし不可抗力等による公開延期は猶予します）
2. 応募時に未発売・未発表のアプリケーションやサービスであっても、上記の要件を満たしていれば開発途中版での応募が可能です。
3. 応募時未発表の場合、リリース版と同等の機能・内容を確認できない場合は審査対象外となることがあります。



応募者について

- 応募者は、応募対象の事業主体(開発・製造元、施主、運営主体)または、事業主体から委託を受けた企業・団体とします。
- 委託を受けた企業・団体の場合は、事業主体の同意が必須となります。
- 日本国外で発売されている商品は、海外の事業主体または輸入代理店等が応募可能です。この場合も、事業主体の同意が必須となります。

採点について

- 一次審査は、応募者から提出された書類をもとに審査を行います。
- 二次審査は、審査委員が各基準について5点満点(5項目×各5点=合計25点満点)で評価し、その合計点で順位を決定します。
- 各審査基準に優先順位は設けず、すべての項目を総合的に評価します。
- 一次・二次審査ともに、審査中に疑問点や詳細情報を応募者に確認する場合があります。



- 課題提起、解決方法

- 課題提起(着眼点)に論拠があり、抽出の粒度が妥当であるか。
- 育児環境に対する問題意識・関心・思いを明確に持っているか。
- 提示された解決策が、課題を的確にカバーできる内容となっているか。

- 新規・独創性、実用性

- 同様の製品・サービスと比較し、独自の取り組みや工夫があるか。
- その取り組みが、機能・使いやすさ・価格などの観点で優位性を生んでいるか。
- オンリーワンの特徴が、正しい優位性につながっているか。

- 機能性、使いやすさ

- 対象ユーザーにとって使いやすい設計になっているか。操作の確実性や導線の明快さが担保されているか。
- デバイスの場合： 設置しやすく、少ない手順で利用できるか。
- コミュニティサービスの場合： 誰でも参加しやすい仕組みになっているか。
- 再応募の場合： 前回応募時から変更されている場合その改善が妥当か。

- 安全性、健康への配慮

- デバイス・玩具などの物理製品において、育児現場で想定される事故や損害への配慮があるか。
- 保護者・子ども・家族などの個人情報や生活データを扱う場合、目的を明示し、適切に収集・利用しているか。
- データの保管・処理が安全に行われることが想定されているか(プロトタイプの実験があり得ることを想定しこの表記とする)

- 将来性、継続性

- 短期的成果だけでなく、長期的な利用や発展を想定しているか。
- 関連分野への展開や新規領域へのアプローチが期待できるか。
- 再応募の場合：新たな気づきや改善があるか。ピボットした場合は妥当性があるか。



審査委員

クロサカタツヤ

株式会社 企(くわだて) 代表取締役
慶應義塾大学大学院政策・メディア
研究科特任准教授



審査委員

青木 水理

一般社団法人
日本おひるねアート協会 代表理事



審査委員

鵜飼 誠

朝日新聞社 メディア事業本部
イベント事業部 次長



審査委員

菊地 政隆

(まあせんせい)
学校法人 菊地学園 理事長



審査委員会運営責任者

永田 哲也

株式会社パパスマイル 代表取締役
BTA実行委員長

- 審査委員は現在継続して選定中です。決定次第、公式サイトおよび応募者向けのニュースレターでお知らせいたします。



1. BabyTech® Awards2025-26 すべての認定者

1. BTA認定(一次審査通過)表彰状の贈呈
2. BabyTech® Awards 認定マークのご利用 ※ご利用用途(利用先媒体)により一部有償となる場合があります
3. 2026年2月発行ベビーテックアワード受賞商品カタログへの掲載、カタログの通年配布
4. 受賞商品のプレスリリース発表、メディア(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・Web)での紹介
5. 展示会、カンファレンス講演等での商品紹介 ※展示会へのご出展は別途展示費用が有償となる場合があります
6. BabyTech.jpにて受賞商品のロングインタビュー取材記事掲載 ※有償
7. メディアパートナー媒体でのPR掲載特別コラボ価格ご案内

2. 各部門優秀賞受賞者

1. 上記のすべての特典+以下2.~5.の特典
2. 優秀賞表彰状の贈呈
3. 2026年2月下旬~3月開催予定イベント(正式名称は後日発表)にて受賞商品、サービスの展示
4. 優秀賞受賞マークのご利用 ※ご利用用途(利用先媒体)により一部有償となる場合があります
5. EC販売可能な商品はBabyTech® Awards公式ECサイトに商品取扱 ※お取引条件は個別調整、販売は必須ではありません

3. 各部門大賞 および 特別賞受賞者

1. 上記のすべての特典+以下2.~5.の特典
2. 大賞表彰状の贈呈
3. 2026年2月下旬~3月開催予定イベント(正式名称は後日発表)にて授賞式参加、受賞者プレゼンテーションの開催
4. トロフィーの贈呈
5. 大賞・特別賞受賞マークのご利用 ※ご利用用途(利用先媒体)により一部有償となる場合があります

4. 殿堂入り表彰者

1. 上記のすべての特典+以下2.~4.の特典
2. 殿堂入り表彰状の贈呈
3. ご利用媒体制限無しの殿堂入りマークの進呈
4. BabyTech.jp、BTA公式ECサイトに殿堂入り商品紹介専用ページ掲載



詳細はWebでもご覧いただけます ▲

大賞・特別賞受賞式、プレゼンテーション



大賞・優秀賞・特別賞受賞商品展示



イベント、協賛企業での展示紹介



てい先生と受賞商品を紹介するイベント



託児付きリラクゼーション施設での商品展示



協賛企業本社ロビーでの商品展示



秋田県主催子育てイベントでの体験展示

多数の取り組みを行っています

- 受賞商品カタログ冊子の作成と通年配布
- カンファレンス・展示会での商品紹介
- Webページ、ECでの受賞マーク活用
- BabyTech.jpロングインタビュー掲載



詳細はWebでもご覧いただけます ▲

ベビーテックアワード受賞商品の報道例、雑誌掲載例



▲ 日本テレビ ZIP! 「令和子育ての新常識 ベビーテックを徹底調査」
「子育ての進化が止まらない! “ベビーテック”を調査!」



▲ NHK総合 Dig More Japan 「ベビーテック」



▲ FQ Japan (パパ向け育児&ライフスタイル誌。販売誌・フリーマガジン)



▲ NHK総合 おはよう日本 おはBiz



～ 2025年11月28日(金) 23:59

応募受付期間

応募フォームからエントリー

保育事業者を利用対象に含む商品サービス先行一次審査向け応募締切

2025年11月7日(金) 23:59

※先行一次は「保育博での紹介希望をされる保育事業者向け商品」向けに、応募締切と一次審査通過通知の時期のみ前倒しします。審査基準は同一です。

早期応募ほど、審査プロセスが早く進みます

2025年11月上旬 ～ 12月上旬

一次審査（随時進行）

応募受付後、順次審査を開始

審査結果は個別にメールで通知

一次審査通過者には、順次二次審査の日程調整をご連絡します

2025年12月2日(火) 15:00頃

認定リスト公式発表

一次審査通過者（認定商品）一覧を公式発表

Webサイト・プレスリリースにて公開

※個別の審査結果通知は既に完了していますが、認定リスト全体の公式発表がこの日となります

2025年11月25日(火) ～ 12月19日(金)

二次審査（オンラインプレゼン）

一次通過者と個別に日程調整

各商品15分程度（プレゼン10分 + 質疑5分）

※一次審査を早期に通過された方は、応募締切日(11/28)より前に二次審査が実施される場合があります

2026年1月26日(月) 15:00頃

受賞者内示

大賞・優秀賞・特別賞 受賞者へメール通知

2026年1月29日(木) 11:00頃

受賞商品発表

プレスリリース・公式Webサイトで公開

大賞・優秀賞・特別賞 受賞商品発表

2026年2月下旬 ～ 3月上旬

授賞式・展示・カンファレンス

東京都内に開催 決定次第随時Web、メール、SNSで発表します

審査料

1商品につき **60,000円(外税)** 早期申込特典で最大15,000円割引があります

審査料のお支払いはお申込み受領後に事務局よりメールにてご案内いたします。

銀行振込、クレジットカードが利用可能です。

「BabyTech® Awards 審査受付開始ご案内メール」に事前登録いただいていた方は、特典の5,000円引きクーポンを併用し最大20,000円割引適用となります。

審査料比較表

申込期間	割引額	審査料（税抜）	クーポン併用時（税抜）
10/22 ~ 10/31	-15,000円	45,000円	40,000円
11/1 ~ 11/10	-10,000円	50,000円	45,000円
11/11 ~ 11/21	-5,000円	55,000円	50,000円
11/22 ~ 11/28	なし	60,000円	55,000円

ご注意事項

- 審査料の割引は、応募登録日で判定されます。
- 本年より、まず応募登録をいただいてから、後日審査資料をご提出いただく順序になりました。お早めに応募登録をお済ませいただくと早期申込特典を活かすことができます。▶[ご応募登録はこちら](#)
- 各種割引は併用可能です。審査料には消費税が別途加算されます。
- 一度お支払いいただいた審査料の返金は応じかねます。

認定者・受賞者への無償提供（次ページに一覧表を掲載しています）

- 全認定者・受賞者に 表彰状進呈
- BabyTech® Awards 2025-26 認定(BTA2025-26 Selection)デジタルマークの発行、ご利用
- BabyTech® Awards 2025-26 認定・受賞商品カタログ／アワードWebページでの掲示、プレスリリース発信
- 殿堂入り・大賞・優秀賞・特別賞受賞「BabyTech® Awards 2025-26 受賞」デジタルマーク発行、ご利用
- 殿堂入り・大賞・特別賞 受賞者の授賞式・トロフィー・プレゼン参加(現地までの移動費旅費はご負担ください)
- 殿堂入り・大賞・特別賞・優秀賞 受賞商品展示(現地までの移動費旅費、物品送料はご負担ください)
- 殿堂入り・大賞・優秀賞・特別賞 受賞商品のアワードWebページでの掲示、プレスリリース発信
- 「BabyTech® Awards 2025-26 殿堂入り」媒体利用範囲無制限マーク発行

認定者・受賞者への有償提供

- 「 BabyTech® Awards 2025-26 認定(BTA2025-26 Selection) 」「BabyTech® Awards 2025 受賞」
印刷・パッケージ・TV放送、CM用マーク発行、ご利用
(デジタルマークにある利用範囲制限を解除し、印刷用の精細データを提供するものです 次項詳細)
- 認定者・優秀賞受賞者向け BTA2025-26 認定・受賞トロフィー(2026年2月以降受注)
- 別主催者展示会での商品紹介、カンファレンスでの単独ブース出展
- BabyTech.jpにて受賞商品のロングインタビュー記事掲載(殿堂入り商品は無償)
- メディアパートナー媒体でのPR掲載特別コラボ価格出稿のご案内



	ご提供内容	殿堂入り	大賞・特別賞	優秀賞	BTA認定
イベント	授賞式参加	○	○	○	-
	受賞プレゼンテーション	○	○	-	-
	商品展示(主催者ブース 共用台・紹介枠)	○	○	○	○
	商品展示(個別ブース出展)	△	△	△	△
トロフィー類	トロフィー	○	○	△	△
	賞状	○	○	○	○
受賞マーク (用途別)	受賞マーク デジタル用(ラスター形式)	○	○	○	○
	受賞マーク 印刷等用(ベクター形式:有償提供)	○	△	△	△
公式発表	BTA2025-26認定発表プレスリリース掲載	○	○	○	○
	大賞・優秀賞・特別賞発表プレスリリース掲載	-	○	○	-
	殿堂入り商品発表プレスリリース掲載	○	-	-	-
	認定・受賞商品カタログ掲載 (通年配布)	○	○	○	○
	BabyTech.jp認定・受賞発表掲載	○	○	○	○
メディアオプ ション(有償)	BabyTech.jp認定・受賞者ロングインタビュー	○	△	△	△
	メディアパートナー特別価格ご案内	△	△	△	△

△ … ご希望の方に有償にてご提供いたします



ご留意事項

Webサイト、SNS、プレスリリース、ECサイト、社内イントラネット掲示などデジタル上でのご利用は無償のデジタルマークをご利用ください。パッケージ印刷、顧客向けチラシ、名刺、公共放送、CFでのマークご利用は有償となります

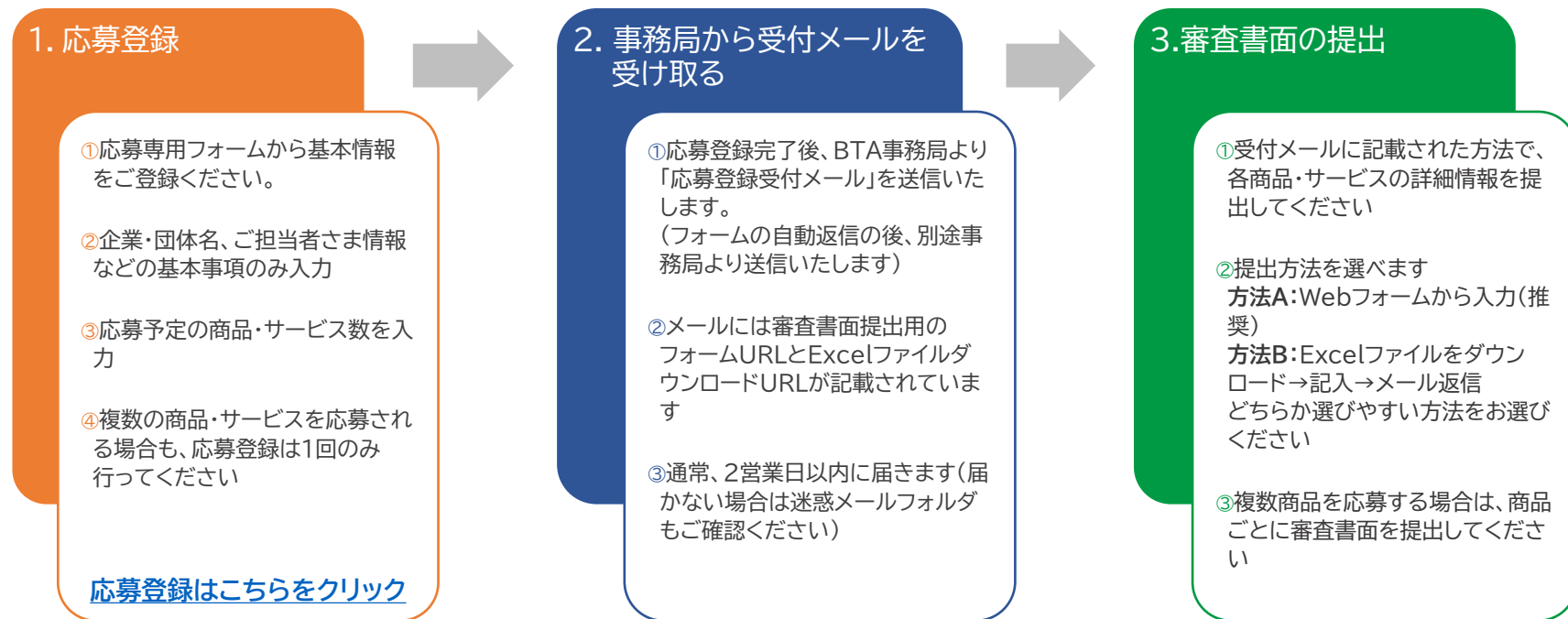
印刷(パッケージ・パンフレット・TV等公共放送、CF)用マーク発行、ご利用費

- 殿堂入りマークは無償で媒体制限なくご利用いただけます
- 商品価格により、ご利用費が変動いたします
- ご利用媒体制限、ご利用期間制限はございません
- 印刷用マークの発行後に2025-26年表記の消去オプションを追加でご依頼いただく事も可能です
- マークご利用お申し込み受領後3営業日以内に印刷用マークを発行いたします
- 印刷用マークはお渡し後すぐにご利用いただけます
- サブスク型、月額制の商品は、初期費用＋1年間分の利用料を商品価格として計算してください

商品価格(税抜本体価格)	発行ご利用費(税込)
5万円未満(無料アプリ・無料サービス含む)	77,000円
5万円以上10万円未満	132,000円
10万円以上50万円未満	187,000円
50万円以上100万円未満	242,000円
100万円以上500万円未満	462,000円
500万円以上1,000万円未満	682,000円
1,000万円以上の商品	902,000円
オプション:2025-26年号表記の消去	+ 330,000円

ご応募の流れが新しくなりました

前年までは、応募時に多数の詳細項目をご記入いただく必要がありましたが、今回から2段階の応募プロセスに改めました。
まず簡単な「[応募登録\(第1段階\)](#)」を行っていただき、その後詳細な「審査書面提出(第2段階)」をしていただく流れとなります。



ご注意

- 応募登録のみですと審査が進行しません。必ず審査書面のご提出をお願いいたします
- 審査料の早期割引は応募登録完了日時で判定されます。お早めのご登録をお勧めいたします
- 審査書面の提出期限は応募締切日(2025年11月28日)です
- 一次審査は順次進行し、BTA認定も随時通知いたします。二次審査の日程調整を行うためにも審査書面はお早めにご提出いただくことをお勧めいたします

お問い合わせ

1. よくあるお問い合わせとその回答をご確認いただくと、ご懸念が早く解決する場合があります

<https://babytech.jp/bta202526-category-faq/#faq>

2. Webから：お問い合わせフォームをご利用ください

<https://babytech.jp/contact/>



よくある質問とその回答はこちらからも ▲

3. メール : btaj_staff@papasmile.jp

4. 電話 : 03-6555-2350 平日10:00～18:00

株式会社パパスマイルのテレワークオペレーターがご用件を伺い、順次折り返しご連絡いたします。

主催者:BabyTech® Awards 実行委員会

BabyTech® Awardsをより多くの皆さんに応援いただくため、2023年より任意団体の実行委員会による主催に移行いたしました。また、本年度より一般社団法人カラトクロスの協力を得、実行委員会と事務局機能の管理およびイベント運営をおこないます。また、これまでの開催運営実績から、実務面はBabyTechの商標を持つ株式会社パパスマイルが主体となって行います。

※BabyTech/ベビーテック は株式会社パパスマイルの登録商標です。